

TOYOTA MARINE Ocean Style

Mar 2022 Vol.12

Proposed
the Play of Ocean



Play!

海の楽しさは、無限だ。

一人ひとりの海の楽しみ方に応えるための、
テクノロジーとデザイン。

そのパフォーマンスを体感した時、
あなたの海の喜びはきっと広がっていく。

フィッシングにとどまらない、
海を楽しみ尽くすための贅沢な一艇。

Premium Sport Cruiser
PONAM-28V

QRコードをスキャンして
詳細を確認してください。



◆Sグレード：本体価格 21,780,000 円(税込) / Xグレード：本体価格 28,380,000 円(税込)

※写真はSグレード、オプション装着時 ※写真は特選船庫が施される場合がございます。

TOYOTA MARINE

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。
トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 トヨタマリン営業所

☎ 0120-532-451 | www.toyota.co.jp/marine/



TOYOTA MARINE
Ocean Style

Proposed the Play of Ocean

TOYOTA MARINE



Proposed the Play of Ocean

TOYOTA MARINE Ocean Style

— Mar 2022 Vol.12 —

08	PONAM-31 Z Grade 発表	
10	— 25周年を迎えるトヨタマリン — これまでの歴史をラインナップとともに年表で振り返る	
12	LEXUS LY650 IMPRESSION	
18	LEXUS LY650 日本ポート・オブ・ザ・イヤー試乗会開催	
22	美しい景観と地元で獲れる海の幸が魅力 伊勢の南玄関「五ヶ所湾」をサイトクルージング	
26	山海の幸を用いた美食を求めて 「御食国」淡路島へグルメクルージング	
34	PONAM-28Vに乗って 東京湾の人気ターゲット「カワハギ」を狙う	
38	ポーナムシリーズ試乗会レポート 試乗直後の来場者にインタビュー 試乗して感じたPONAMの魅力とは	
40	MARINA DIVIDE VOL.13 RIVIERA SEABORNIA MARINA マリーナ探訪 リビエラシーボニアマリーナ	
42	PONAM LINE UP ポーナムラインナップインフォメーション	



REGAR

株式会社リガーマリンエンジニアリングは、SeaDekの認定加工業者(Certified Fabricator)のライセンスを取得し、国内での製造加工をしています。



PONAM35,PONAM31,PONAM28V お好みのデザインでご注文承れます

SeaDek®
MARINE PRODUCTS
Certified Fabricator

SeaDek®はHyperForm社の商標登録です。

株式会社リガーマリンエンジニアリング

三重県いなべ市大安町南金井1732番地
TEL:0594-87-0200 FAX: 0594-87-0300

リガーマリン シーテック 

HP



Instagram



LINE@



31

Sport Utility Cruiser
PONAM-31
Z Grade



PONAM-31 Z Grade 発表



「スピード」、「乗り心地」、「居住性」の全てにこだわり抜いたSport Utility Cruiser「PONAM-31」に新たなグレードとなる「Z Grade」が誕生。「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに、今春新たに発表されたプレミアムな1艇をご紹介します。

Designed by TOYOTA MARINE × MODELLISTA

利便性とスタイリッシュさを両立する「Zグレード」

コロナ禍以降、ユーザーの嗜好・価値観は大きく変化しており、リモートワークの活用、アウトドア需要の高まりなどを背景に「都心から郊外へ」「働きながら休暇を取る」といった“新しい日常”が広まりつつある。こうした生活様式の変化に対応すべく、PONAM-31に新たに「Zグレード」を追加。「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに、利便性とスタイリッシュさを両立する新装備を数多く採用している。デザイン面ではクルマのドレスアップパーツを世に送り出す「MODELLISTA」とボートでは初めてコラボレーションし、先進かつ優雅な佇まいを演出している。ツートンでカラーリングされた船体はマリンプールに映えるスタイリッシュな印象で、アフトデッキからキャビンへとつながる動線はアクティブとリラックスをシームレスにつないでいる。デザイン性と機能性の二律双生を追求したリアガーニッシュをはじめ、隅々まで妥協することなくこだわり抜いた装備が、乗船者に高い満足感を与え、心地よいマリンライフを楽しませてくれる。



リアガーニッシュ



アフトデッキ ラウンジクッション/アフトデキタープ(オプション)



チーク調デッキ(オプション)



ロアステーション



サロンソファ/2wayサロンテーブル



ギャレー

プレミアムで特別な室内空間を演出

室内空間は誰もが船内で寛げる快適性が追求され、ゆったりと過ごすことのできる設備が整っている。通信環境の面ではオプションでWi-Fi設備をビルトインすることが可能で、海を眺めながらの開放的なサードプレイスのワークスタイルを実現。リモートワークはもちろん、配信動画などのエンターテインメントを快適に楽しめる(SIMカードの手配が必要)など、幅広い用途に対応して

くれる。また、ボートの横揺れに対して反対方向の回転力(ジャイロトルク)を効果的に発生させることで、停泊時の姿勢変化を最小限に低減する「アンチ・ローリング・ジャイロ」もオプション選択でき、乗船者の疲労、不安、酔いなどを軽減してくれる。他にも、船内は「withコロナ」の時代でも安心して利用できるよう、トヨタ車両にも多く採用される「ナノイーX」をポーナムシリーズと

して初搭載(標準装備)。キャビン内の各エアコン吹き出し口からは肌や髪にやさしい、水に包まれた弱酸性の「ナノイーX」が放出され、空気中の様々な汚染物質を抑制することで、船内に清潔で快適な空気環境を整えてくれる。誰にも邪魔されたくない時間も、家族とのかけがえのない時間も、PONAM-31 Z Gradeはプレミアムで特別なサードプレイスとして活用できるだろう。

お問合せ先

トヨタマリン営業所(TOYOTA MARINE ラグーナ)

〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2-1 フリーダイヤル 0120-532-451
営業時間 10:00~17:00 定休日 火・日曜日

※掲載内容は2022年3月現在のものです。※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含む場合があります。 ※写真はCGです。実物と異なる場合があります。

— 25周年を迎えるトヨタマリン —

これまでの歴史をラインナップとともに年表で振り返る

クルマづくりで培った技術を活かし
「走り」に拘ったボートを製造

TOYOTA MARINE

トヨタの想いを「海」というフィールドでも実現したい。その願いを叶えるべく、トヨタでは1997年からマリン事業を本格的にスタートさせている。参入以降、様々なタイプのボートを製造・販売するトヨタマリンが徹底的にこだわっているのがボートの「走り」。アルミハルやトヨタハイブリッドハルを採用した独自の船体形状により、抜群の凌波性と安定感のある快適な乗り味を実現。また、自動車エンジンや自動車技術の応用、品質管理基準の導入などにより、爽快な加速性能が楽しめるだけでなく、最新の操船支援システムを搭載するなど、トヨタがクルマづくりで培ってきた技術を余すところなくボートに注ぎ込んでいる。トヨタマリンのボートは国内の市場からも高い評価を得ており、毎年日本国内で販売されるモーターボートの中から、年間を通じて最も優秀なモデルに贈られる「日本ボート・オブ・ザ・イヤー」の名誉ある称号を過去に4度受賞(PONAM-28L、PONAM-35、PONAM-31、PONAM-28V)している。25周年を迎える2022年にはトヨタマリン新艇累計販売1,000隻を達成し、今後も自動車で培った最先端技術を活かした魅力的なボートの製造・販売が期待される。次はどんなボートが発表されるのか、トヨタマリンの今後の展開から目が離せない。

《マリン事業のあゆみ》

- 1997 1月 マリン事業部として独立 
- 2月 「PONAM-28」発表
- 1999 2月 「PONAM-37・26S・26F」発表   
- 2000 8月 トヨタマリン 新艇累計販売100隻
- 2002 2月 「PONAM-26L」発売 
- 3月 トヨタマリン 新艇累計販売200隻
- 2003 9月 「PONAM-28II」・「PONAM-28GII」発表 
- 2004 3月 トヨタマリン 新艇累計販売300隻
- 2005 8月 トヨタマリン 新艇累計販売400隻 
- 10月 「PONAM-45」発表(トヨタドライブアシストなど、新技術搭載)

- 2006 10月 トヨタマリン 新艇累計販売500隻
- 2007 1月 マリン用M1KDエンジンをPONAMに搭載(国産初プレジャーコモンレール式ディーゼルエンジン)
- 2008 2月 「PONAM-26LII」発表 
- 3月 トヨタマリン 新艇累計販売600隻
- 12月 「PONAM-28L」発表 
- 2009 3月 「PONAM-28L」が初代「日本ボート・オブ・ザ・イヤー」を受賞 
- 2010 10月 トヨタマリン 新艇累計販売700隻 
- 2011 3月 新型ボート「PONAM-28III」を発売 
- 9月 新型ボート「PONAM-35」を発売(新規に「TVAS」を搭載) 
- 2012 3月 「PONAM-35」日本ボート・オブ・ザ・イヤー2011受賞 
- 2014 10月 新型ボート「PONAM-31」を発売 
- 2015 3月 「PONAM-31」日本ボート・オブ・ザ・イヤー2014受賞 
- 3月 トヨタマリン 新艇累計販売800隻
- 2016 10月 新型ボート「PONAM-28V」を発売(新規に「1軸TVAS」を搭載) 
- 2017 3月 「PONAM-28V」日本ボート・オブ・ザ・イヤー2016受賞 
- 2018 3月 「LEXUS Sport Yacht Concept」日本ボート・オブ・ザ・イヤー特別賞受賞 
- 9月 トヨタマリン 新艇累計販売900隻
- 2019 3月 「PONAM-28V Hybrid」日本ボート・オブ・ザ・イヤー特別賞受賞 
- 9月 LEXUSラグジュアリーヨット「LY650」を世界初披露
- 2021 12月 トヨタマリン 新艇累計販売1,000隻



LEXUS LY650 IMPRESSION

1989年、トヨタのプレミアムブランドとしてスタートしたLEXUS。2013年には、LEXUSの世界観とライフスタイルを発信する「INTERSECT BY LEXUS」や「Fスポーツロードバイク」、2015年には、「ホバーボード」を発表し、ラグジュアリーライフスタイルブランドとして幅広く展開。LEXUS LCが発売された2017年には、LEXUS YACHTSのブランドコンセプトを示したLEXUS Sport Yacht Conceptのワールドプレミアがフロリダで行われ、そのニュースは、マリニ業界や自動車業界だけでなく、一般メディアを通じて世界を駆け巡る。そして、2019年10月30日、LEXUS Sport Yacht Concept のフィロソフィーを受け継いだプロダクトモデルLEXUS LY650が発表された。世界的混乱で予定より1年以上遅れたジャパンプレミアも開催。北米から日本へ、LEXUSブランドの新たな挑戦が始まった。



65フィートクラスの中ではコンパクトなフライブリッジは、スポーティーでスタイリッシュな、クーペスタイルを残したデザイン。フライブリッジ上部にカーボン(CFRP)を使い、軽量かつ高剛性な構造に造ることで、低重心で高い航行性能と快適な乗り心地を実現した。

パウデッキには、トレンドのオーシャンラウンジ。前方を向いた大型のソファの他、パウの先端には左右に分かれたサンタンベッド。サンタンベッドの一部がリクライニングし、シェーズロングに。テーブルからソファまで、全ての造形に曲線が描かれ、LEXUS YACHTSのラグジュアリーな世界観を表現している。



「LEXUS」が新たに提案する海のモビリティ

LEXUS LY650は、LEXUSが提案する新しい海のモビリティ。LEXUSが目指すラグジュアリーライフスタイルブランドのフィロソフィーを、陸だけでなく海上でも実現。世界のヨット市場を見据えた65フィートのサイズに、最新テクノロジーと匠の技を融合。細部に渡り徹底的にこだわり抜く「CRAFTED」の思想を具現化したLEXUS YACHTSのフラッグシップ艇だ。そのスタイリングは、LEXUSブランドが詰まったもの。パウデッキから流れるように傾斜したフロントウィンドシールド。フライブリッジクルーザーでありな

から流麗でスポーティーなサイドビュー。トランサム近くまでつながるサイドラインは美しいレーフラインを形成。丸みを帯び、厚みのあるハウシステムに、豊かでふくよかなブルワーク。ワイド&ローのトランサムはスポーツカーのスタイリング。カッパー/グレーメタリックのツートンカラーは独創的。デザインは、世界的に高い評価を得たLEXUS Sport Yacht Conceptを受け継いだもの。そして、パウ先端のガーニッシュやL字型のエアインテークなどLEXUS YACHTSのアイコンとして唯一無二の存在感を示している。



ラウンジソファの左右に伸びる背もたれは、サイドから見るとリアスポイラーのようにも見える。その曲線は、イブスの曲線とリンクしたデザインを構成。ポートサイドには、シンクやBBQグリル、アイスメーカーが備わるウェットバー。ジョイスティックは、アフトデッキの左右両舷に設置され、どの方向でも視認しやすく安全に離着岸することができる。



天井やファブリックなど白を基調に、木部にはユーカリが使われ、個性的な色と輝きがラグジュアリーな空間を生み出している。天井の立体的な造形とアンビエントライト、ソファーやテーブルなど、すべてのデザインが曲線で描かれている。LEXUSのエンブレムの形にデザインされたフロア、ギャレージやヘルムシート背面に取り付けられたオーナメントもエンブレムの「L」を連想させるもの。テーブルの支柱にも「L」が潜んでいる。

先進的なデザインに、上質さが際立つインテリア

アフトデッキからスライドドアを開け、メインサロンへ。白を基調とした明るいサロンは、全周を見渡せ開放的。レイアウトは、手前にギャレージ、船首側にサロンエリアとヘルムステーションを配したアフトギャレージスタイル。印象的な木部は、ユーカリの木が使われた珍しいもの。独特の風合いがデザインのアクセントに。インテリアデザインは、LEXUSデザインとワンオフのスーパーヨットや世界的なプロダクションヨットビルダーのデザインを手がけるヴェネチアのNuvolari Lenardのコラボ

レーション。イタリアンモダンでありながら、LEXUSブランドを印象付ける個性的なデザイン。中でもフロアデザインは独自の。チークデッキからバリアフリーでつながるフローリング調のフロアには、カーペット素材で型取られたLEXUSのロゴ。ギャレージとヘルムシート背面に備わるシルバーマタリックのオーナメントはLEXUSのロゴからインスパイアされたもの。サロンテーブルの支柱にまで「L」をデザイン。さらに、階下のロアーデッキもLEXUS YACHTSの世界観。パウ側には、

SF的なデザイン窓やシェル型のヘッドデザインが印象的なVIPルーム。スターボード側には、ダブルベッドのゲストルーム。そして、フルビームを使ったリクスなマスターステートルーム。アイランドベッド、ヘッドボード、天井、ソファー、テーブルなど全てのインテリアは曲線を描き、エレガントな色やデザインに統一されている。曲線を使った優しい造形とアンビエントライトが心地よい包まれ感を演出。レクスならではの“おもてなし”思想が表現された居住スペースに仕上げられている。



サロン前方、ヘルムステーションには2脚のLEXUSオリジナルパイロットシート。カーボン製のコンソールには、革巻きのホワイトハンドルと17インチマルチディスプレイが3台並ぶ。長時間でも疲れないドライビングポジションはカーライク。窓側にはスロットルレバーとジョイスティックが操作しやすいポジションに配置されている。コンソールは低めに抑えられ、ヘルムシートからの視界も良好。



マスターステートルームはロアーデッキのほぼ中央。フルビームを使った明るくリユクスな空間。メインサロンの意匠に合わせた曲線で描かれたインテリア。丸みを帯びたシェルにも見えるキングサイズのアイランドベッドが船首方向に対し垂直に配置されている。ソファやテーブルもカーブを描き、優しく包みこむ。マスターステートルーム専用のバスルームには、広く使い易いパウダールーム。43インチのディスプレイ、ウォークインクローゼット、パニティーテーブルなど、全てがラグジュアリーホテルのスイートルームの設え。

LEXUS LY650

全長: 19.94m 全幅: 5.76m
 エンジン: Volvo Penta IPS1350/1200/1050
 燃料タンク容量: 4,012L 清水タンク容量: 852L
 客室数: 3部屋(ベッド6名対応)

詳細はこちら



メインデッキとロアーデッキを行き来するステップ。フロントウィンドシールドから光が降り注ぐ。明るい踊り場には、コーヒーメーカーとワインクーラーがインサートされ、ヨットライフを豊かにしてくれる。コーヒーメーカーがヘルムステーションに近いのもロングクルージングにはありがたい。



パウキャビンは、VIPルーム。マスターステートルームのベッドやインテリアと同じシェルデザイン。ゲストルームは、マスターステートルームとVIPルームの間。ダブルベッドが横向きに配置されている。ヘッドボード、サイドウィンドウ、ベッドなど全てがサロンのインテリアとシンクロ。LEXUSのデザインフィロソフィーが全てのキャビンに行き届いている。



ラグジュアリーヨットにふさわしい走行性

フライブリッジ最前部には、白を基調としたホルドの良いバケットタイプのヘルムシート。カーライクなドライビングポジションでハンドルを握る。パワートレインは、Volvo Penta D-13 IPS1350。1000馬力を誇る直6、12.8リットルのデュアルステージターボ・ディーゼルエンジン。高出力と低燃費を両立する環境対応エンジンを2基搭載している。ジョイスティックで離岸し、シフトレバーに持ち替えスロットルを倒していく。1000回転で

10ノット、1500回転で14ノット。主要な壁には防音性に優れたサンドイッチパネルが使われ、LEXUS譲りの優れた静寂性を実現。低騒音、低振動のパワートレインにより、フライブリッジには、不快な音や振動はなく、波と風の音が届けられる。2000回転で25ノット、2200回転で30ノット、低速域から高速域までトルクフルに加速する。2400回転で34ノット。トップスピードは、2440回転で35.1ノット。最新のボトムデザインと高剛性な船体が

スピードだけでなく、なめらかな走りと凌波性を両立する。30ノットのクルーズスピードで旋回をする。PODドライブならではのリニアなレスポンスで、緩やかにバンクし、スムーズなマニューバーを描く。ラグジュアリーヨットにふさわしい安定感のある走行フィール。快適な乗り心地と操縦の楽しさを感じさせるLEXUSの目指す「すっきりと奥深い」走行性能が、LEXUS YACHTSにも受け継がれている。

写真提供: 株式会社パーフェクトボート text: Yoshinari Furuya

お問合せ先

トヨタマリン営業所 (TOYOTA MARINE ラグーナ)

〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2-1 フリーダイヤル 0120-532-451 営業時間 10:00~17:00 定休日 火・日曜日

※掲載内容は2022年3月現在のものです。※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含む場合があります。※現在は販売を中止しております。

LEXUS LY650 日本ボート・オブ・ザ・イヤー試乗会開催



「日本ボート・オブ・ザ・イヤー実行委員会」実行委員長を務める山崎憲治氏。

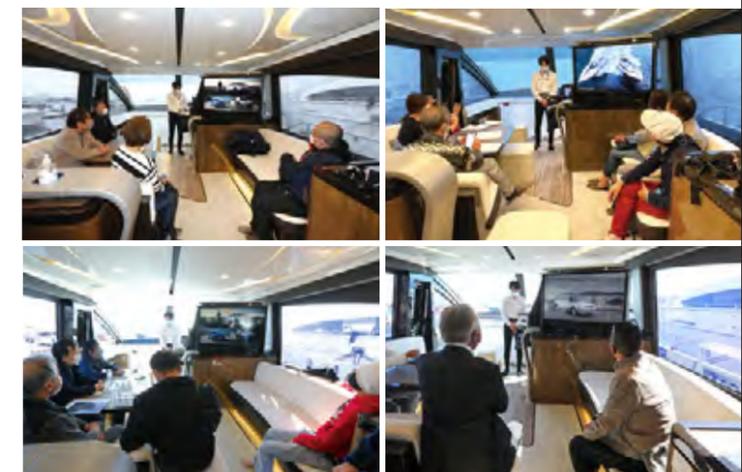
選考委員に評価された優れた走行性能

試乗会では各選考委員が自らLEXUS LY650を操船しており、各々が真剣な表情で乗り味を確認していた。今回の試乗艇にはVolvo Penta IPS 1350が2基搭載され、30ノットオーバーの卓越した走りを体感した選考委員からは「これは速い」、「十分な速さ」といった加速性能を評価する声が多く聞かれた。また、ボートが滑らかな旋回を披露した際には「想像以上に小回りが利く」、「よく回るね」といった旋回性能の良さを評価する声が相次いでいた。当日は時折白波の立つ海況ではあったが、「行きたい方向に真っ直ぐ進める」、「走っていても安定感がある」、

「本当に波当たりが良い」といった保針性や走行安定性を高く評価する声も聞こえてきた。LEXUS LY650は流体解析技術を駆使した独自ハル形状に加え、ハルとブリッジ上部にカーボンファイバーを採用することで、軽量かつ高剛性を実現。船体のロールを最小限に抑える低重心設計により、走行時でも優れた安定感を発揮している。こうした部分が操作性や凌波性の良さとして、高く評価されたようだ。他にも「ジャイロが効いて嫌な横揺れを感じにくい」といった声もあり、快適な乗り心地を高く評価されていた。

11月9日～10日、横浜ベイサイドマリーナにて「日本ボート・オブ・ザ・イヤー実行委員会(以下BOTY)」によるLEXUS LY650の試乗会が開催された。BOTYは毎年日本国内で販売されるモーターボートの中から、年間を通じて最も優秀なモデルに対し、「日本ボート・オブ・ザ・イヤー」の称号を授与しており、サイズやコンセプト毎に各部門賞を設けている。今回の試乗会にはBOTY実行委員長を務める山崎憲治氏をはじめ、多くの選考委員・評議委員が参加し、LEXUS LY650の類まれな走行性能と洗練されたサロン空間などを確認した。

横浜ベイサイドマリーナの桟橋に係留されたLEXUS LY650。試乗会には「日本ボート・オブ・ザ・イヤー実行委員会」のメンバーが多数参加した。



試乗前には船内のサロンにて、LEXUS LY650の開発コンセプトや特徴などがトヨタマリンスタッフより説明された。



L-finesseを体現したデザインを高く評価

LEXUS LY650はレクサスフィロソフィー「L-finesse(エル・フィネス)」を体現したデザインで、2017年に発表された「LEXUS Sport Yacht Concept」のテイストを継承している。流麗で躍動感溢れる外観は選考委員から「素晴らしい曲線美」、「船体のカラーリングが非常に良い」と高い評価を得ていた。インテリアは曲線主体の意匠で、レクサスのテイストが存分に発揮される先進的なデザインを採用している。選考委員

からは「船内の随所でレクサスを感じられる」、「サロン全体がとてもお洒落」といった声が聞かれた。また、サロンやステップなど、船内にはLマークを連想させる形がいくつも存在しており、細部にまで拘られた遊び心あるデザインは選考委員からも高く評価されていた。他にも、「サロンのレイアウトが機能的」、「居住性能が非常に高い」など、デザインだけでなく、サロンの居住性能についても高く評価されていた。

走行中にはメインサロンでストレス無く会話ができていることに気がついた選考委員同士が、「走っているのに船内がこれほど静かとは思わなかった」と静粛性の高さを評価していた。LEXUS LY650はLEXUS独自の思想に基づき、最新テクノロジーと匠の技を融合したフラッグシップにふさわしいパフォーマンスで、試乗に訪れたBOTYの選考委員に「驚きと感動の体験」を提案していた。



試乗会では走行性能やL-finesseを体現した先進的なデザイン、機能的な船内レイアウトなどが確認されており、選考委員がトヨタマリンやレクサスのスタッフと意見交換を行うシーンも見られた。



LEXUS LY650の爽快な乗り味を体感した選考委員。優れた加速性能や旋回性能を高く評価していた。また、走行安定性や保針性の良さを評価する声も多く聞かれた。

美しい景観と地元で獲れる海の幸が魅力

伊勢の南玄関「五ヶ所湾」をサイトクルージング



五ヶ所湾の岩場に佇む「間鼻島灯台」をPONAM-31から見学。



蒲郡から五ヶ所湾まではおよそ2時間のクルージング。

五ヶ所湾は伊勢志摩国立公園にも指定される自然豊かなフィールドで、リアス式海岸で形成される海は水の透明度も高く、自然の織りなす美しい景観を楽しめる。湾内にはマリーナや海の駅もあり、クルージングや釣りといったマリレジャーの拠点としても人気のエリアとなっている。今回はPONAM-31で風光明媚な雰囲気が漂う五ヶ所湾を巡り、美しい景観や鮮度抜群の海の幸など、見所満載のサイトクルージングをご紹介します。



愛知県蒲郡市のトヨタマリン営業所から出発。ボート購入に関する相談をはじめ、遊び方の提案も行ってくれる。出発場所は愛知県蒲郡市のラグナマリーナ。



モデル：仁枝 拳二 / 鈴木 志歩

取材協力

ラグナマリーナ
愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地
TEL:0533-58-2950



衣装協力

muta JAPAN 株式会社



五ヶ所湾には湾口から澄んだ黒潮が流れ込み、海は抜群の透明度を誇る。



宿田曾漁港に係留するPONAM-31と撮影艇のPONAM-35sw。
※係留に関する詳細は志摩ヨットハーバーに要問合せ。

新鮮な伊勢海老などの海産物をお店で直接購入してみよう

五ヶ所湾は伊勢海老や真鯛など豊富な海の幸に恵まれ、漁港には日々新鮮な海の幸が水揚げされている。クルージングで五ヶ所湾を訪れた際には地元で獲れた海の幸を販売するお店に立ち寄り、直接自分の目で食材を選び、購入してみるのも面白い。今回は五ヶ所湾の宿田曾漁港に上陸し、漁港から歩いてスグの場所にある「丸池水産 南伊勢事業所」を見学させて頂いた。こちらは個人で訪れた人にも鮮度抜群の伊勢海老をはじめとした海の幸を直接販売してくれるお店で、店内の大きなイケースには伊勢海老がサイズ毎に分けられ管理されていた。こうしたお店で新鮮な海の幸を購入し、家族や仲間と一緒に買ったばかりの食材を船上で捌き、お皿に盛り付けるだけでも、贅沢なランチタイムを過ごせそう。クルージングの道中に地元で獲れたばかりの海産物を買ってみるのも、サイトクルージングの楽しみ方の一つである。



新鮮な海産物を直接販売してくれる丸池水産を訪問。クルージングの道中でこちらを訪れるボートやヨットのオーナーも多い。

鮮度抜群の伊勢海老も直接購入できる。これを船上で食べられたらと思うと何とも贅沢である。

取材協力

丸池水産 南伊勢事業所
三重県度会郡南伊勢町宿浦1114-11
TEL:0599-69-2187



豊かな自然に囲まれた 隠れ家的なヨットハーバー

年間を通じて穏やかなロケーションが魅力の五ヶ所湾にはマリーナや海の駅が点在しており、マリトレジャーの拠点としてはもちろん、クルージングの寄港地としても利用されている。宿田曾漁港を出た後は間鼻島灯台を船上から見学。岩場に佇む白亜の灯台と海が織りなす雄大な眺めをしばらく楽しむ。灯台の周りには水面から出ていない岩場もあるため、十分に距離を取って見学することも忘れてはならない。間鼻島灯台を見学後は次の目的地となる「志摩ヨットハーバー」に向かう。こちらは昨年リニューアルし、オーナーズルームには薪ストーブ、ビリヤード台、ピアノなどが設置され、洗練されたクラシカルな空間が演出されている。他にも、様々なテイストでデザインされたお洒落な椅子や質感の良いソファ、専用の個室シャワー、トイレも用意され、オーナーに同伴するゲストも居心地良く非日常のひとときを過ごせる場所となっている。マリーナは豊かな自然に囲まれ、水色の綺麗な港を拠点にのんびりとプライベートな時間を楽しめる。まさに、マリライフを愛する粋な海の男達が集う「隠れ家」的なマリーナと言えるだろう。



豊かな自然に囲まれる志摩ヨットハーバーに入港。「みえ・みなみいせ海の駅」にも指定され、ビジター利用も受け入れている。
※利用の際は要事前連絡。



クラブハウスは昨年リニューアルされ、オーナーズルームやテラスを完備している。



オーナーズルームには上質なソファやスタイリッシュな椅子が並び、洗練された空間が演出されている。居心地も非常に良く、出航予定の無い日でも非日常のマリーナスティを楽しめる。



1. 室内には大人の遊び心を楽するビリヤード台を設置。2. 薪ストーブが室内を優しく暖め、澄んだ空気を作り出す。3. 屋上にはソファやテーブルを備えたテラスを設置。五ヶ所湾の雄大な景観を眺めつつ、落ち着いた雰囲気でお酒を楽しむ。4. クラブハウスに隣接するプールもあり、リゾート気分を高めてくれる。

取材協力

志摩ヨットハーバー
三重県度会郡南伊勢町船越3113
TEL:0599-66-0933



店主が厳選する脂の乗った 「灘マグロ」は一食の価値あり

クルージングの最後は海の幸を堪能すべく、志摩ヨットハーバーから「ごかしよ海の駅」を目指す。湾内の美しい景観を眺めつつ、PONAM-31を走らせる。五ヶ所湾では真珠、青海苔、真鯛、ブリなどの他、マグロの養殖も非常に盛んで、脂の乗った鮮度抜群の「灘マグロ」が人気を集めている。五ヶ所湾は緑豊かな山々から豊富な栄養素が海に流れ、南からは澄んだ黒潮が流れ込むため、養殖エリアとしては絶好のロケーションで、広々と泳ぐことのできる大型のイクスにその日に獲れた新鮮な鯖や鰯などを飼料にすることで、理想的な生育環境を整えている。訪れたのは南伊勢の豊かな海で育った「灘マグロ」を堪能させてくれるお店「伊勢志摩まぐる食堂」。ここで食べた「灘マグロ」は脂の乗りが抜群で、身の締まり方も良く、刺身一切れずつにマグロ本来の旨味が凝縮されていた。養殖のマグロに対するイメージが一瞬で覆されてしまうほど美味しく、天然と比較しても、それ以上とすら感じてしまった。やはり美しい景観を見た後は食欲を満たす地元のグルメも忘れてはならない。五ヶ所湾は美しい景観に負けず劣らずの新鮮な海の幸も魅力的なサイトクルージングスポットであった。



「ごかしよ海の駅」に係留。
※桟橋利用に関する詳細は志摩ヨットハーバーに要問合せ。



鮮度抜群の「灘マグロ」が楽しめる伊勢志摩まぐる食堂を訪れる。清潔感のある店内は昭和レトロな漁師小屋をイメージ。



1. 「本まぐろと鯛の刺身定食(1,540円)」は「灘マグロ」だけでなく、地元の海で育った鮮度抜群の真鯛の刺身が楽しめるお得なメニュー。2. 「特製本まぐろ中トロ丼(1,815円)」には脂の乗りが絶妙の中トロが贅沢に使用されている。



親しみのある大将が「灘マグロ」の美味しい食べ方を教えてくれた。たまり醤油や塩で刺身を食べても美味しいが、お勧めはこちらの「伊勢のあま〜い おさしみしょうゆ」。「みえフードイノベーション商品」にも認定され、ほのかに甘みのある醤油が刺身の旨味を引き立たせる。

取材協力

伊勢志摩まぐる食堂
三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3959 TEL:0599-77-6890
営業時間▶平日 11:30~14:30 ▶土日祝 11:00~17:00 / 定休日▶木曜日
※ラストオーダーは閉店1時間前 ※予約は当日のみ受付可能



取材の様
動画を
見る



YouTube

山海の幸を用いた美食を求めて

「御食国」淡路島へグルメクルージング

淡路島は古来より朝廷に食材を献上するなど、四季折々の山海の幸に恵まれる食材の宝庫で「御食国(みけつくに)」とも称される。今回はハイクラスなリゾートホテルで楽しめる洗練された「美食」を求めて、PONAM-31で「御食国」淡路島へ向かった。



取材協力

芦屋マリーナ

兵庫県芦屋市海洋町11-1
TEL:0797-35-6662
アクセス:N 34°42'10" E 135°19'60"



今回はPONAM-31に乗ってグルメクルージングに出発。出発地点となったのは兵庫県芦屋市の芦屋マリーナ。充実した設備と洗練された雰囲気のあるハイクラスなマリーナ。

淡路島は食材の宝庫

周囲を美しい海に囲まれる淡路島では鮮度抜群の海の幸が日々水揚げされる。大阪湾と瀬戸内海を繋ぐ明石海峡は急流で知られ、この水域で獲れる真鯛やマダコなどは「明石鯛」や「明石ダコ」といった海鮮ブランドにもなっている。雄大な自然が広がる陸地では畜産業も非常に盛んで、肉用牛や乳用牛の一大畜産地帯が形成されている。また、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれる淡路島は玉ねぎやレタスをはじめとした農業も盛んで、素材本来の甘みや旨みを楽しめる新鮮な野菜が採れる。新鮮で旬の食材が多数集まる淡路島はまさに食材の宝庫の名に相応しい島と言えるだろう。



海上から神戸の人気観光地「神戸ハーバーランド」を見学。



冬でも空調の効いたサロンで操船を楽しめる。

淡路島と兵庫県神戸市を繋ぐ明石海峡大橋。吊り橋の全長は世界最長となる3,911m。

「御食国」淡路島へグルメクルージング



今回の係留場所となった海の駅「淡路交流の翼港」。充実した設備が整い、マイボートでの利用者も多い。



桟橋が長いので離着岸時の操船負担も軽減される。係留の際は要事前予約。



ホテルまではグランドニッコー淡路が運営する「Quay Club」の送迎車を利用。



「Quay Club」はクルーザーやヨットオーナー向けの会員制クラブで、送迎サービスをはじめ、ホテルでの様々な特典が付いている。

大型の係留桟橋を完備
海の駅「淡路交流の翼港」

今回の目的地は淡路島にあるグランドニッコー淡路。2020年10月に関西初のニッコー・ホテルズ・インターナショナル最上位ブランドのホテルとしてリブランドし、洗練されたリゾートホテルとして高い人気を誇る。ホテルへのアクセスは隣接する海の駅「淡路交流の翼港」があるため、マイボートでのアクセスが可能だ。ホテルではクルーザー・ヨットのオーナー向けの会員制クラブ「Quay Club」を運営しており、ホテルまでの送迎サービスをはじめ、様々な特典が付いたサービスを受けられる。また、「淡路交流の翼港」は桟橋が非常に長く、幅もしっかり確保されているため、ホームポートとは異なる場所での離着岸を行うオーナーの不安も軽減してくれるだろう。

淡路交流の翼港

兵庫県淡路市楠本字ユスノ木2267-10
TEL:0799-74-1000(平日) / 0799-75-2156(土・日・祝)
アクセス:N 34°33'27" E 135°00'44"



取材協力

洗練されたリゾートホテルで
ワンランク上のステイを楽しむ

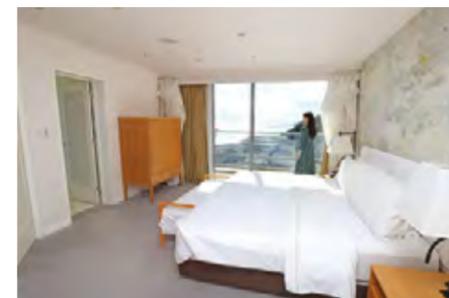
「グランドニッコー淡路」は淡路島の北端に位置する「淡路夢舞台」の中核施設として開業。「淡路夢舞台」は世界的建築家・安藤忠雄氏によって設計され、ホテル、国際会議場、テラスレストラン、温室などの施設があり、淡路島の地域振興をはじめ、世界中から集まった人々が交流できる国際交流拠点にもなっている。ホテルには201室の客室をはじめ、様々なスタイルのレストラン・ラウンジが揃い、充実したステイを楽しませてくれる。ランチクルージングの目的地としても最適だが、時間のある方は宿泊してゆったりとプライベートな時間を楽しむのもいいだろう。お勧めはエレガントな清涼感を演出する「エグゼクティブスイート」。広々としたリビングルームや開放的なベッドルームに加え、オーシャンビューのバスルームが付いたハイクラスのスイートルームだ。エレガントな雰囲気が演出された極上の空間でクルージングの疲れを存分に癒して欲しい。



クルージング先となったグランドニッコー淡路。大阪市内から車で約60分、神戸からは約30分と都心からのアクセスも良好。



お勧めはエグゼクティブスイートルーム。洗練された空間が演出され、広々としたリビングルームを備えている。



清潔感のあるベッドルームは落ち着いた雰囲気が漂う。



海を眺めながらのバスタイムはクルージングの疲れを癒してくれる。



広いバルコニーからは壮観な眺めを楽しめる。

COCCOLARE

コッコラーレ

ダイナミックな鉄板焼 ファンダイニング「コッコラーレ」

最初にご紹介するレストランは淡路島の旬の食材をシェフが多彩なアイデアで調理してくれるファンダイニング「コッコラーレ」。フロアは「鉄板焼」、「スペシャリテ」、「ブッフェ」スタイルのエリアで構成される。鉄板焼のエリアではシェフが目の前で豪華な山海の幸を焼き上げてくれる。柔らかい肉質でとろけるような旨味が特徴の淡路牛をはじめ、厳選された新鮮な魚、兵庫県産の焼き野菜はどれを食べても絶品と言える一皿だ。シェフが絶妙の焼き加減で提供する最高級の食材の数々は口に運ぶと素材本来の味わいが口中に広がっていくのが分かる。シェフとの会話を楽しみつつ、新鮮な食材を豪快に焼き上げる極上の鉄板焼をぜひ堪能して欲しい。



ファンダイニング「コッコラーレ」の鉄板焼。対面するシェフとの会話を楽しみながら、豪快に焼き上がる旬の食材を堪能できる。



淡路牛フィレ肉や地元の新鮮な野菜を使用した「ひょうご五国物語-マリティム-」。



自然豊かな風土でのびのびと育った淡路牛はまるやかな旨味と柔らかい肉質を楽しませてくれる。



華やかでありながら洗練された落ち着いた空間「スペシャリテ」。コース料理と厳選されたワインを提供してくれる。

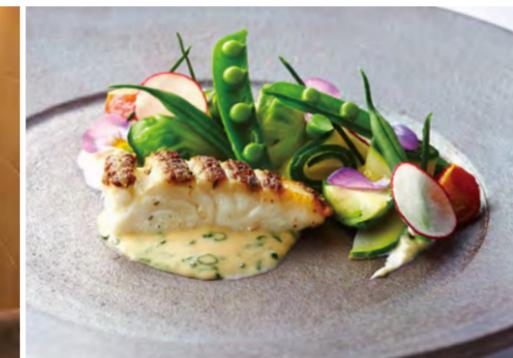
旬の美食をコース料理で味わう 地中海フレンチ「スペシャリテ」

「コッコラーレ」のフロア内にある「スペシャリテ」では洗練された雰囲気漂うレストランで季節感溢れる美しい地中海フレンチを楽しめる。こちらでは素材本来の味を引き出す「軽さ」をテーマにあっさりとしたテイストで、食べ

やすい地中海フレンチを提供している。地元の野菜や魚介類など、旬の食材を贅沢に使った料理の数々は見た目も非常に美しく、まさに「美食」と言えそうだ。食事のシーンに新たな発見や驚きを求める方にはこちらの「スペシャリテ」で、独創的な地中海フレンチを味わって欲しい。きっとクルージングでここまで来た甲斐があったと、心底実感して頂けるだろう。



大切な人とテーブルを囲み、落ち着いた雰囲気でお食事ができる。



美しく彩られた料理はまさに美食の表現がピッタリだ。

「御食国」淡路島へグルメクルージング



一枚板の寿司カウンターのある日本料理「あわみ」。職人が魅せる匠の技を感じながら、心地よい時間を過ごすことができる。

日本料理
あわみ
japanese restaurant awami

料理人の卓越した技を愉しむ
日本料理「あわみ」

続いてご紹介するレストランは新鮮な食材を繊細な味わいで調理してくれる日本料理「あわみ」。フロアは寿司カウンター、テーブル席、座敷の3つのエリアに分かれており、寿司カウンターでは凛とした雰囲気の中、職人が目の前で寿司を握ってくれる。職人の冴え渡る技で握られた寿司は見た目の美しさはもちろんのこと、口に運ぶと素材本来の旨味が何とも言えない幸福感とともに口中に広がっていく。鮮度抜群かつ美しいスタイルの寿司を食べたい方にはぜひこちらをお勧めしたい。また、オーシャンビューの絶景が自慢のテーブル席は開放感あるレイアウトで、目の前に広がる海を見ながら豪快さと繊細さを兼ね備えた日本料理を楽しませてくれる。



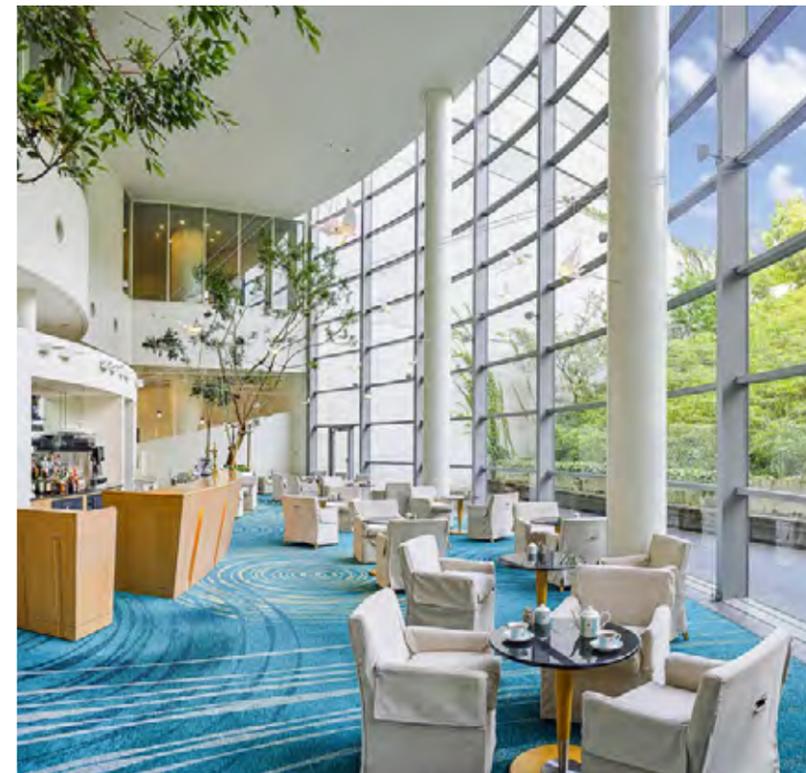
美しく握られた寿司は鮮度抜群で食材の旨味が凝縮されている。



繊細なタッチで表現される料理は見た目でも楽しませてくれる。



開放感のあるテーブル席も用意され、オーシャンビューの景色を眺めながら食事ができる。



吹き抜けの開放感溢れる空間で、彩り鮮やかなアフタヌーンティーやドリンクを提供するロビーラウンジ「ルッチョラ」。

LOBBY LOUNGE
LUCCIOLA
ルッチョラ

本格的なアフタヌーンティー
ロビーラウンジ「ルッチョラ」

吹き抜けのロビーラウンジには自然光が降り注ぎ、開放感ある明るい空間がゲストを優しく迎え入れてくれる。午後は本格的なアフタヌーンティー、夕暮れ時には幻想的な雰囲気のカクテルタイムが演出され、リラックスして旅の疲れを癒すことのできるエリアとなっている。ラウンジで人気の「季節のアフタヌーンティー」は旬の果実と地元食材にこだわったパティシエ特製スイーツで彩られ、こちらは季節毎にテーマが変わることで、年間を通じて楽しむこともできる。淡路島牛乳、淡路放し飼いたまご、兵庫県産小麦粉など、地元食材を使ったスイーツの数々は見た目も美しく、SNS映えしそうな一際華やかなメニューとなっている。



「季節のアフタヌーンティー」は旬の果実や地元食材をふんだんに使ったパティシエ特製スイーツが並ぶ。スイーツが華やかに盛り付けられたアフタヌーンティーは女性からも絶大な人気となっている。



モデル：村瀬みずき



GRAND NIKKO
AWAJI

取材協力

グランドニッコー淡路
兵庫県淡路市夢舞台2番地
TEL:0799-74-1111



マイボートで行く
グルメクルージングの魅力とは

昨今では海の駅の整備が進み、マイボートを受け入れてくれる港も増えてきた。ボートを購入したら釣りに行くだけでなく、こうした絶品の食事を求めてグルメクルージングにも出かけてみよう。美味しいレストランや食事処に車や電車で行くのは当たり前のことだが、自らマイボートを操船して行くことで、日常ではなかなか味わえない素晴らしい体験となるだろう。ボートという自分達だけの特別な空間で、プライベートなクルージングタイムを過ごし、訪れた先では絶品のランチに舌鼓を打って欲しい。きっと非日常を感じられる刺激的な休日となるはずだ。

取材の様様を
動画で見る



YouTube

PONAM-28Vに乗って

東京湾の人気ターゲット「カワハギ」を狙う

東京湾はアジ、カワハギ、シーバス、青物など豊富な魚影に恵まれるフィールドで、季節ごとに旬の魚を狙った釣りを楽しめる。今回は神奈川県横須賀市にあるシティマリーナヴェラシスでユニマットプレシャスの方々がPONAM-28Vに乗船し、冬の人気ターゲットとなるカワハギ釣りに挑戦。日頃から多種多様なボートやヨットに触れ、幅広く遊びの提案を行うプロの目にPONAM-28Vはどう映るのか。カワハギ釣りを通じて、それぞれが感じたPONAM-28Vの魅力についてもお伝えしていこうと思う。



神奈川県横須賀市のシティマリーナヴェラシスから出航。



今回PONAM-28Vに乗船した左からユニマットプレシャスの緒方杏彩さん、田中柚香さん、田中裕貴さん、(右端)石井満さん。



1. エアコンの効いた暖かいキャビンでは会話も弾む。2. 雪化粧をした富士山を横切り、ポイントを目指す。3. 広くて清潔感のあるパウバースは女性スタッフ2人も絶賛。4. レストルームはスペースの広さが評価されていた。



「餌取り名人」との 駆け引きが魅力

カワハギは成魚では30cmほどのサイズで、主に浅い砂地と岩礁の混じるエリアに生息している。主にゴカイや貝類などを餌とする魚で、体を覆うザラザラした厚い皮と頑丈な歯を備えた小さなおちょぼ口が特徴。歯は釣り糸を噛み切るほど鋭く、小さな口を使って針に付いた餌を器用に外してしまうため、釣り人からは「餌取り名人」とも呼ばれている。カワハギは釣るまでに繊細な駆け引きを楽しめるゲーム性の高さも人気で、餌の付け方や魚の誘い方によって釣果も大きく変わってくる。また、この時期に釣れるカワハギは肝臓が大きく肥大した通称「肝パン」の状態になっており、「海のフォアグラ」とも呼ばれるカワハギの肝を目当てに、東京湾でも多くのアングラーがカワハギ釣りを楽しんでいる。

TVASの機能や海況に応じた使い分けについてトヨタマリナスタッフ(右)から説明を受ける。



バーチャルスパンカーモード使用時。スパンカーを使用する遊漁船同様に風の影響を交わしながら、潮の流れに沿ってポートを流している。



5. アフトデッキも十分な広さで両舷に大人が2人ずつ分かれても十分に釣りを楽しんでいた。6. 小まめに誘い方を変え、辛抱強くカワハギを狙う。7. カワハギを釣る重要な要素の一つが、餌となるアサリの剥き身の付け方。針はアサリの水管→ベロ→ワタの順に丁寧に付けていく。



最初のポイントで見事にカワハギを釣り上げてくれた田中裕貴さん。TVASのポジションキープの精度を絶賛していた。



釣り方に応じてTVASの機能を使い分けることで、しっかりとターゲットのカワハギを確保。

PONAM-28Vの
取材の様相を
動画で見る



スタッフの方々が評価した TVASを使った釣りの魅力とは

カワハギは真鯛や青物ほどポイントを回遊する魚ではないため、まずはカワハギが付いていそうなポイントを見つけることが釣果を重ねる上で重要な要素となる。PONAM-28Vには1基掛けエンジンでは世界初となる1軸TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)を搭載しており、コンピュータが位置、風向き、潮流を判断し、停船時に自動で船体の位置や方向を保持してくれる。今回は海況や釣り方に応じて、TVASのモードを細かく使い分けながらカワハギを狙うことに。最初に入ったポイントは海底にボソソと岩礁があるポイントで、その岩礁に付いたカワハギを狙って釣りをスタート。スタッフの田中裕貴さんが餌となるアサリの剥き身を海底に落とし、しばらく魚に誘いを掛けていると、竿先に明確なアタリがあった。しっかりと合わせた後、慎重に巻き上げると狙っていた肝の肥大したカワハギが姿を見せた。この日1枚目となるカワハギを釣り上げた感想を聞くと、「海底に岩礁のあるエリアだったので、バーチャルアンカーモード(B)を使い、岩礁の上でボートの位置を保持しました。ボートがポジションをキープしてくれたので、じっくりと魚に誘いを掛けられたことが良かったと思います。」とTVASを評価していた。続いて向かったポイントは海底にいくつかポイントとなりそうな岩礁が存在しており、流し釣りで広範囲を探っていくエリアだ。ここではスタッフの緒方杏彩さんと田中柚香さんが好調で、良型のカワハギをそれぞれ2枚ずつ釣り上げてくれた。お二人にも感想を伺うと、「今回はバーチャルアンカーモードを

使いましたが、船首を常に風上に向けたまま潮に乗ってボートを流せたので、探ってみたいエリアを効率よく狙えました。流される速度まで調整できたので、実際にスパンカーを付けるよりも釣りがしやすかったです。(田中柚香さん)、「途中でバーチャルコンパスモードも試しましたが、向きたい方向に船首を保持しながら、流される速度や方向までコントロールできたのでとても驚きました。自分のイメージ通りにボートが流せるので、釣果にもぎっと繋がると思います。(緒方杏彩さん)」などTVASを実際に使って感じた感想を聞くことができた。また、マリーナ副支配人の石井満さんにも話を伺うと「正直このラフコンディションでこれだけ船体のポジションを制御できるとは思いませんでした。TVAS凄い精度ですね。これならオーナー様の操船負担も軽減されるので、釣りを存分に楽しんで頂けるとと思います。」とややラフな海況のなかでも効果を発揮したTVASの精度を高く評価していた。今回は日頃から東京湾で様々な遊びを提案するマリーナスタッフの方々が実際にPONAM-28Vに乗って釣りをした感想をご紹介します。走りやキャビンの居住性能だけでなく、TVASの有効性もお伝えできたのではないかと思います。

釣りかひと段落すると、エアコンの効いたキャビンへ移動。冬でも暖かいキャビンでは自然と釣りの話も盛り上がり、快適な歓談スペースとなっていた。



PONAM-28Vに乗った感想

マリーナ副支配人 石井 満さん

マリーナグループ チーフ 緒方 杏彩さん

舟艇販売 営業担当 田中 裕貴さん

舟艇販売 営業事務 田中 柚香さん



クルージングや釣りなどオールマイティに遊べるボートですね。釣りの上級者の方でもTVASを付けることで、オーナー様の操船負担もかなり軽減されると思います。難しい艀装をせずとも楽しく釣りができそうですね。お洒落かつスマートなボートで快適なマリライフを楽しむにはピッタリの1艇です。

いつもスタッフ同士で釣りに行くと必ずアンカリングをしています。TVASはアンカーの上げ下ろしが無いので、細かなポイント移動がとてもラクでした。キャビンも広くてお洒落なので、釣りに行った後はマリーナステイも楽しめると思います。走りもとてもソフトだったので、多少波があっても安心感がありました。

あれだけの風や波のなかでバーチャルアンカーがしっかりと効いてくれたので、とても釣りがしやすかったです。バーチャルアンカーの効きは想像以上でした。実際にアンカーを落とす訳ではないので、釣りにも集中できました。ハイブリッドハルは凌波性が良く、走りも素晴らしいです。自信を持ってお客様にお勧めできます。

キャビンやパウバースが広くとても快適でした。家族連れや女性のゲストがいても船内には休憩できるスペースが多く確保されていたので、安心だと思います。釣りの最中はボートがとても安定していたので、ふらつくことも無く、長い時間釣りをしているにも疲れにくいボートだと思いました。



帰港後はシティマリーナヴェラシスのクラブハウスで小休止。クラブハウス内にはレストラン「クリッパー」があり、テラス席からはマリーナと浦賀湾が一望できる。

マリーナ公式HP ▶



ポーナムシリーズ試乗会レポート 試乗直後の来場者にインタビュー 試乗して感じたPONAMの魅力とは

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せた10月、各地のマリーナではボートの展示・試乗会が行われ、トヨタマリンでは横浜ポートフェア2021と関西フローティングボートショー2021にポーナムシリーズの人気モデル2艇を出展。今回は試乗直後の来場者に乗ってみた感想をインタビュー。来場者にお聞きした「生の声」をご紹介します。



YOKOHAMA BOAT FAIR 2021



KANSAI FLOATING BOAT SHOW 2021



乗ってこそ分かることがある。まずは一度試乗してみよう!

来場者の方にインタビューしていると、「想像以上に速い」、「思っていたより広い」、「TDSの精度に驚いた」といった声がよく聞こえており、実際に試乗したことで、走行性能・居住性能・テクノロジーなどの分野において、試乗前よりもポジティブな印象を持った方が多くいると感じた。昨今の情報社会においては、欲しい情報がある程度事前に取得することは難しくないが、1度でも乗ってみると、ポーナムシリーズの「スピード感」、「安定性」、「居住性」、「最新テクノロジー」などはホームページやカタログで見ると、直感的に理解できるはずだ。試乗会は様々なモデルを試乗・比較する絶好の機会のため、積極的に利用して頂き、少しでも多くの方にポーナムシリーズの魅力に触れて欲しいと思う。



想像していたよりもディーゼル特有の騒音や振動を感じなかった。波きりも良く良かったです。内装が思ったより広くて快適でした。



船内に入ってみると、思っていたより広く感じました。YouTubeで見るとも広がりました。内装もとても豪華でした。



思っていたよりも運転しやすかったです。乗っていてとても楽しかったです。走る楽しさを実感できました。



安定性の高さや自動着岸の精度にはビックリしました。これは素晴らしいと思いました。ポート選びの参考になりました。



凄く楽しかったです。実際に操船することができたので、とても貴重な体験になりました。



トヨタさんのボートに対する理解度が増しました。船内も広く感じましたし、装備がとても充実しているのが分かりました。



PONAM-28Vは想像以上に速くて安定感がありました。PONAM-31のフライブリッジからの景色は最高でした。



TDSは想像以上の精度で驚きました。船内もとても広がりました。



TDSを実際に説明してもらえ、理解が深まりました。とても貴重な機会だったので、こうした機会は定期的開催して欲しいです。



ハイブリッドハルの乗り味の良さに驚きました。スピード感にも大変満足しています。



アルミハルの波あたりがとても良かったです。TDSは想像以上に精度が高かったです。



FRP艇との違いを強く体感できました。クルマみたいな操作性で、ハンドルにしっかり付いてくる感覚がありました。スピードもとても速く、海に出た時の爽快感も最高でした。



思った以上にスピードが速く、TVASの効きも良かったです。試乗会に来たことでポーナムの理解度を深めることができました。



TDSは着岸後も棧橋にボートを軽く押し付けてくれるので、棧橋から離れずに安全でした。TDSの精度と安全性には感動しました。着岸に自信の無い方には絶対に必要だと思います。

トヨタマリン主催・参加の試乗会情報はHPや各種SNSでも発信中

ホームページ

Instagram

Twitter

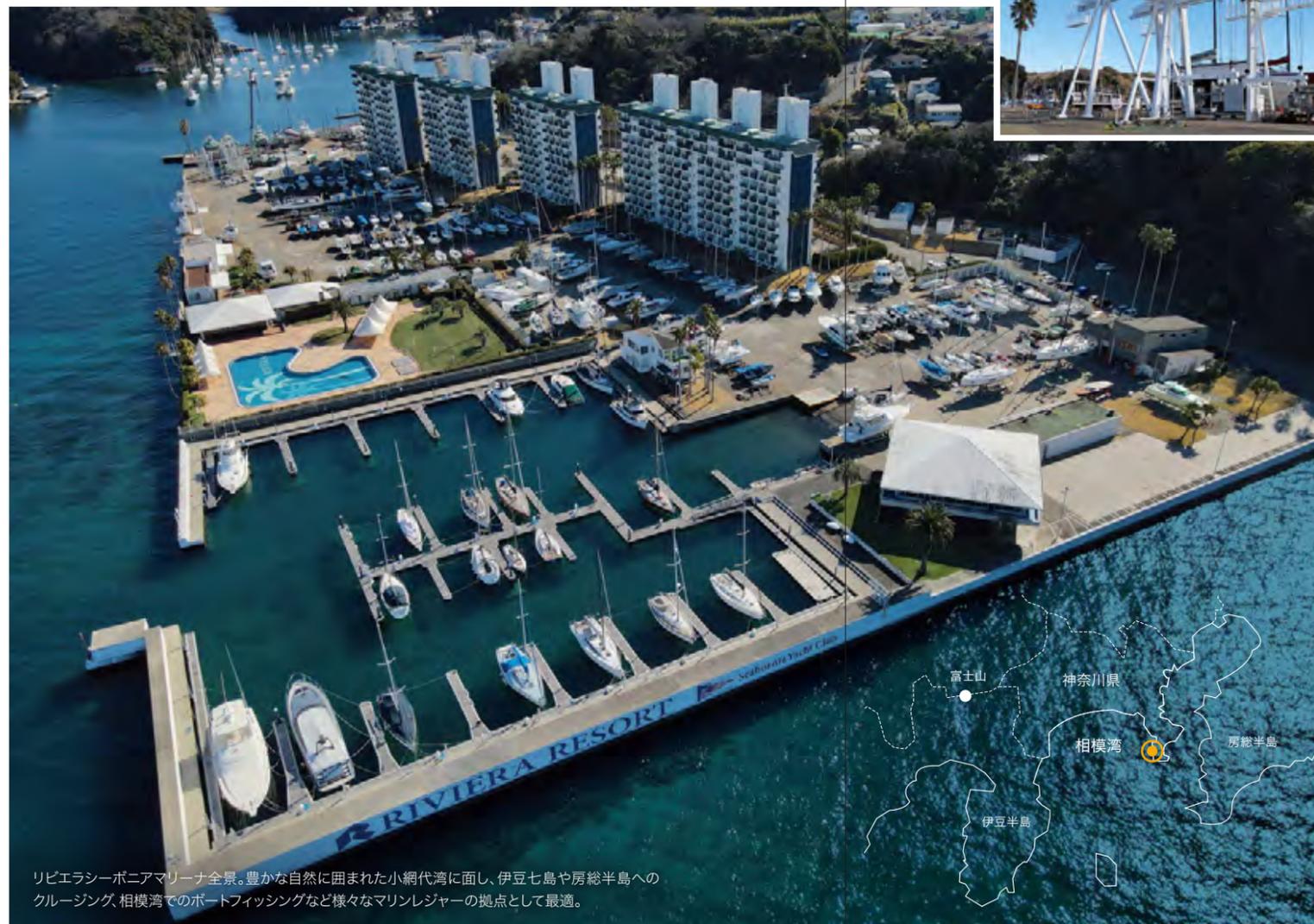
三浦半島最南端にあるヨットマンの聖地 美しい海に恵まれた玄人好みの泊地

都会の喧騒から離れ 非日常の休日をお過ごし

リビエラシーボニアマリーナが位置するのは三浦半島最南端に位置する小網代湾。年間を通じて非常に穏やかな湾内は海水の透明度も高く、海を囲むように小網代の森が広がっている。西に向かって開いた湾口は真正面に富士山を望む抜群のロケーションで、海に出るシーマン達に壮観な眺めを楽しませてくれる。1967年に誕生したリビエラシーボニアマリーナは最高の景色と自然条件に恵まれる「東洋屈指のハーバー」とも評されている。南国の雰囲気が漂うマリーナの敷地内には5tから30tまで4種類のクレーンとウィンチ、オーシャンビューが自慢の4棟のマンション、リゾート感を演出するラグジュアリーなプールが併設されている。クラブハウスの2Fには富士山や小網代湾を望むレストランもあり、上質なサービスと充実した施設で休日を優雅な気分でお楽しみするリゾート型のマリーナとなっている。



1. 陸上には国産～輸入艇まで幅広いタイプのポートやヨットを艇置。2. 小網代湾を出ると真正面に富士山を望む抜群のロケーション。



リビエラシーボニアマリーナ全景。豊かな自然に囲まれた小網代湾に面し、伊豆七島や房総半島へのクルージング、相模湾でのポートフィッシングなど様々なマリンレジャーの拠点として最適。

豊富な魚影が魅力の相模湾 クルージングやヨットレースも盛ん

マリーナに面する小網代湾を出るとマリンレジャーの盛んな相模湾に出る。相模湾は富山湾や駿河湾とともに日本3大深湾と呼ばれ、深場ともなれば1000m以上の水深がある。また、岸から離れると急に深くなるという特徴があり、海岸近くでも釣りをするのに十分な水深がある。そのため、マリーナから2、30分程度

という近場でもカワハギ、カサゴ、真鯛、甘鯛、アカハタといった様々な魚種を狙った釣りを楽しめる。マリーナが位置する三浦半島南端は外洋へのアクセスも良いため、大型の魚を狙った本格的な釣りにもチャレンジすることができそう。他にも、相模湾では年間を通じてヨットレースも開催されており、「ヨットマンの聖地」と言われるマリーナには国内でもトップクラスのレース艇メンバーが多数在籍している。

様々な艇種を取り扱うプロが感じた ポーナムシリーズの魅力とは

今回はマリーナのハーバーマスターを務める横川 哲 氏にポーナムシリーズの魅力についてインタビュー。まずは走行面についてお聞きすると、「ポーナムシリーズはどれも波切りが良く、アルミハルやハイブリッドハルは安定性が非常に高いので、乗り心地も非常に快適です。エンジンの静粛性も高いので、サロンやキャビンが

株式会社リビエラリゾート リビエラシーボニアマリーナ
〒238-0225 神奈川県三浦市小網代1286
TEL:046-882-1212(代表) FAX:046-882-5131
<https://www.riviera.co.jp/marina/seabornia>



3. 24tガントリークレーンを含め、4種類の上下架設備を完備。4. 海沿いにはプールも設置され、リゾート気分を高めてくれる。5. マリーナ内は透明度の高い海水が循環。6. 海上係留バースは水面も非常に穏やか。



7. 伝統と品格を感じるマリーナクラブハウス。8. エントランスにはクラシカルな雰囲気が漂う。9. レストランでは富士山や相模湾に沈むサンセットを楽しめる。10. シーフードピラフにアメリカーナソースをかけた看板メニュー「シーボニアライス」。

とても静かです。オーナー様のファミリーやゲストの方も本当に安心して乗っておられるので、初心者の方でも乗っていて怖さを感じにくいのだと思いました。」と走行時の安定性を高く評価してくれた。居住性能についてもお聞きすると、「ポーナムシリーズは居住性能も高いので、マリーナに戻ってきてからも船上で食事やパーティなどができると思います。海上でアンカリングすれば、プライベートな空間でのんびりとポートステイも楽しめます。エアコンは操作性も良く、船内が曇ることなく快適な温度をキープしてくれます。」とポートステイも楽しめる居住性能が評価されていた。最後にテクノロジーについてもお聞きすると、「TVASは釣りにも便利だと思えますが、他にもマリーナからサンセットクルーズに行った際にはポジションを正確にキープし、夕日を見ながら写真を撮ることもできます。マリーナ周辺には自然に恵まれた美しい景色を楽しめるエリアが多いので、そうしたシーンでボートの操船

負担を減らしつつ、安心して位置を保持できるのは大変便利だと思います。また、着岸時にロープやフェンダーを準備する際にポジションキープができるので、安心して着岸の準備もできると思います。」とTVASの様々な使用例を挙げて評価して頂いた。普段から幅広いタイプのポートやヨットを取り扱う横川氏からも、ポーナムシリーズを高く評価する声を頂くことができた。



シーボニアマリーナの横川 哲ハーバーマスター。ポーナムシリーズの魅力を分かりやすく教えてくれた。

PONAM-31

SPORT UTILITY CRUISER



※写真はXグレードです。



※写真はXグレードです。



※写真はXグレードです。

PONAM-31は「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いた、「走りの楽しさ」を体感できるボートである。走行時には抜群のスピードはもちろん、高い安定性も発揮し、スポーティーな走りを存分に楽しめる。サロン入口には3枚扉を採用し、従来よりもワイドな開口部の実現により、サロンとデッキの一体感を感じられる。Xグレードのサロンはネイビーカラーをアクセントにレザー調で統一され、ソファやテーブルの高さを低めに抑えることで、広がりのある室内空間を演出している。他にもオプションで安心かつ正確な離着岸ができるトヨタドッキングサポートも搭載可能となり、これまで以上に操船の負担が減りそうだ。まさにスポーツユティリティクルーザーの名に相応しい1艇と言えるだろう。また、今春には「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに新たに「Zグレード」を発表している。▶ Zグレード詳細はP8～9で紹介

全長/全幅	10.57m/3.20m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 2基
最高出力	191kW(260PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	620リットル
清水タンク容量	110リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	Xグレード 42,130,000円 Zグレード 45,650,000円



PONAM-31

Z Grade

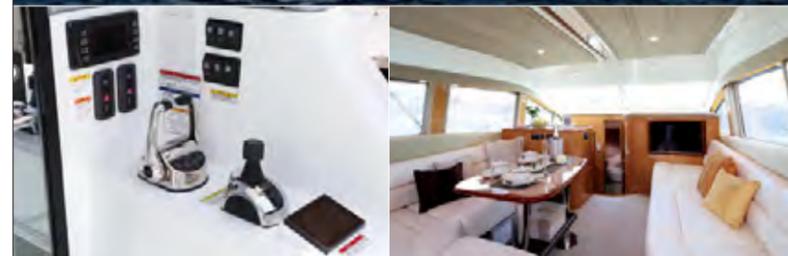
Designed by TOYOTA MARINE × MODELLISTA



※写真はZグレードです。
※写真はCGです。実物と異なる場合があります。

PONAM-35sw

PREMIUM CRUISER



PONAM-35swは外洋での本格的なフィッシングや走る喜びを味わえるクルージングのシーンにおいて、ご家族やご友人、女性にも喜ばれるラグジュアリーな時間を過ごすことができるモデルだ。一步サロンに入ると、洗練された空間が広がっており、居住性の高いサロンで上質なひとときを過ごせそうだ。また、サロン奥に配置されたギャレーはシンク、電子レンジ、調理スペースの他に、大容量冷凍・冷蔵庫が設置されており、ボートステイも存分に楽しめるだろう。他にも、トヨタドライブアシストとトヨタバーチャルアンカーシステムを装備していれば、既存艇にもトヨタドッキングサポートを追加装備することが可能だ。走りと居住性を両立したボートに新たな操船支援システムを搭載することで、より快適なマリライフを楽しむことができそうだ。

全長/全幅	11.95m/3.94m
エンジン型式(ディーゼル)	M1VD-VH
排気量	4,461cc × 2基
最高出力	272kW(370PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	850リットル
清水タンク容量	170リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	76,780,000円



PONAM-28V

PREMIUM SPORT CRUISER



PONAM-28VはFRP、アルミ材、カーボン繊維の3種類をバランス良く使用したトヨタハイブリッドハルを採用し、従来のアルミハルに比べ、同等以上の剛性感と凌波性を実現するだけでなく、船体重量の軽量化にも成功している。そして、1基掛けエンジンでは世界初となる1軸TVASにおいては新たに作動中の充電機能を追加しており、使用時間が従来の約2倍に延長されたことで、これまで以上に長時間のフィッシングにも対応可能となった。船体のデザインはカーデザインで採用される複雑な3D曲面により、立体的なフォルムと曲線美を追求し、美しいデザインを実現。他にも、キャビン内には自動車で培った技術を応用した業界最高レベルの除湿機能付きマリンエアコンを搭載している。

全長/全幅	9.14m/3.16m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 1基
最高出力	191kW(260PS) × 1基
使用燃料	軽油
ハル	トヨタ ハイブリッド ハル
燃料タンク容量	330リットル
清水タンク容量	56リットル
定員	12名
航行区域	平水、限定沿海、沿岸
本体メーカー希望小売価格(税込)	Sグレード 21,780,000円 Xグレード 28,380,000円



※写真はSグレードです。

※写真はSグレードです。



TOYOTA MARINE × muta MARINE

コラボエコバッグプレゼント



おもて

うら

アンケートにお答え頂いた方の中から
抽選で3名様に

TOYOTA MARINE × muta MARINE
コラボエコバッグをプレゼントいたします。

応募締切: 2022年5月31日(火)まで

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケートに
回答する

所要時間: 約4分



※ご回答頂きましたアンケート内容に関しましては、今後の編集・企画立案の際に参考にさせていただきます。また、ご入力頂きました個人情報については読者プレゼント発送のほか、当社が個人の内容特定できないような統計的な資料を作成する際に利用させて頂く場合もございます。個人情報に関しましては当社にて厳重に管理し、この目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。

TOYOTA MARINE Ocean Style

発行人	トヨタ自動車株式会社
編集長	池淵 弘 (マリン事業室)
フォトグラファー	福地 和男 / 石川 三紘 / 石川 雄基
ライター	中田 雅博 / 石川 雄基 / 神谷 仁
デザイン・レイアウト	野口 浩司 / 加藤 憲明
企画・製作	M's PLANNING inc.

Check it out!!

2022年度 契約艇 募集開始!!

空きバースあり
(2022年3月情報)



VELASIS NORTH PIER & BOAT YARD

ノースピア I 区画 陸置きヤード 契約募集中!

開国、黒船、ペリーというキーワードで誰もが知る歴史と伝統の街「浦賀」
その景観を生かし作られたヴェラシスはこの地にリゾートの雰囲気を加えて新たな歴史を刻んでいます。
立地条件は業界第一と言われ、まさにマリナーのセンタースポットとして注目を集めています。



ポーンム 28V なら I 区画 (~ 33ft) 係留

釣りのポイントまでが近いヴェラシスなら、
ポーンム 28V の釣りはまさに相性抜群です。
早朝から出港して一日中釣りを楽しむ理想
のフィッシングライフを実現できる一艇。



ポーンム 31 なら II 区画 (~ 42ft) 係留

ポーンム 31 なら遊びの選択肢は大幅に広がり、
ヴェラシスから近い東京湾・相模湾の
フィッシングやクルージング、快適なマリー
ナステイも楽しむ事ができます。

海上係留 I 区画 [全長 10.0m未滿 × 全幅 3.5m未滿]	
契約金	539,000円
保証金 (非課税)	1,470,000円
年間使用料	1,078,000円
施設使用料	33,000円
初年度合計	3,120,000円

陸上 ~ 30ft 契約 [全長 9.1m未滿] 別途船台が必要	
契約金	451,000円
保証金 (非課税)	1,230,000円
年間使用料	902,000円
施設使用料	33,000円
初年度合計	2,616,000円

海上係留 II 区画 [全長 12.8m未滿 × 全幅 4.4m未滿]	
契約金	742,500円
保証金 (非課税)	2,025,000円
年間使用料	1,485,000円
施設使用料	55,000円
初年度合計	4,307,500円

陸上 ~ 36ft 契約 [全長 11.0m未滿] 別途船台が必要	
契約金	599,500円
保証金 (非課税)	1,635,000円
年間使用料	1,199,000円
施設使用料	55,000円
初年度合計	3,488,500円

※ヴェラシスの契約数値は実測値を採用しております。 ※保証金以外については税込価格です。



ヴェラシスは レンタルも充実

2021年より新しくスタートした、リーズナブルなレンタルボートのサービス「れんたぽー」
最高の環境があるヴェラシスならお手軽に
マリナーをはじめられます。

月々たった 2,750円 で会員になれる! 「れんたぽー」

初回登録時は下記料金と
2ヶ月分の月会費です。

入会金 22,000円
ボート初回講習 11,000円

23ftクラスボート 利用料

平日 半日(3h) 7,700円 1日(6h) 11,000円
土日祝 半日(3h) 11,000円 1日(6h) 16,500円
延長 1h: 2,750円 (日ごとにかかる費用は+燃料代)

シティマリーナヴェラシス

神奈川県横須賀市西浦賀4-11-5
TEL:046-844-2111 FAX:046-844-9572



A
TOMA

<http://www.toma-awning.com/>

抜群の存在感!快適なクルージングが楽しめる!!



美しくて頑丈な「トマレーダーアーチ」誕生!「トマオーニング」と併用で一体感アップ!!

広大な海に浮かぶ異空間に流れ込む風が、
少しだけここで休んでまた抜けていった気がした…。

TOMA AWNING



TOYOTA PONAM-31

[総発売元]

株式会社 丸菱製作所 愛知県春日井市大手町字川内1045 TEL:0568-31-8414 FAX:0568-31-8489



海での感動とマリナーライフを

ボーターの事なら販売・保管・メンテナンスまで全てお任せください!!

PONAM-35

PONAM-31

PONAM-23V



空から海へアクセスできる、新しいマリナーライフの提案

中部圏トップクラスのサービスセンターは、大型艇の修理、メンテナンスからカスタムまで対応。お気軽にご相談ください!!



マリナーハウス

NTP マリナーりんくう NTP MARINA RINKU

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1
TEL.0569-35-7200
www.ntp.co.jp/marina/rinku



素敵に広げるNTP2つのマリナー



『家族と楽しむ海』がコンセプトのアットホームなマリナー

名古屋中心部から車で45分。家族や気の合う仲間たちとのんびり快適なマリナーライフ。レンタルボートクラブ、ボート免許スクールも実施!!



クラブハウス/メインサロン



BBQコーナーを設置
レストハウス



修理工場



NTP マリナー高浜 NTP MARINA Takahama

〒441-1325 愛知県高浜市青木町1-1
TEL.0566-54-5300
www.ntp.co.jp/marina/takahama



保管艇募集中!!

※マリナーりんくうにおきましては現在<陸上保管>の募集を一時中止させて頂いております。

年間保管料の一例

例 りんくう 45フィートの場合 (税込み)

年間保管料(海上) ※特約付 1,776,500 円/年
年間保管料(海上: 一般) 2,090,000 円/年

※船台料金別途。 ※陸上保管は実測長にて算出。 ※上記料金はあくまでも参考です。機装によって変更あり。
◎上記以外に各入会諸経費が必要となりますので、詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。

例 たかま 35フィートの場合 (税込み)

年間保管料(海上:B棧橋) 726,000 円/年
年間保管料(陸上) 1フィート 11,000 円/年

NTP MARINA RINKU NTP マリナークラブ
会員募集中!

オーナー感覚でマリナーライフを楽しむ! レンタルボートクラブのワンランク上のステータスを追求した会員制クラブ

NTP マリナークラブ事務局
☎ 0569-35-7820 (担当/永田・大竹)

NTP ポート免許教室 抜群の合格率!
受講生募集中!

1級、2級、特殊小型(水上オートバイ専用)の3コースをご用意。
¥84,000 (2級)

NTP ポートライセンススクール事務局
☎ 0566-54-5301 (担当/保科・杉浦)

NTP MARINA RINKU NTP レンタルボートクラブ
会員募集中!

いつでも、乗りたくなったらレンタルボート! ボート免許取得者で18才以上の方ならどなたでも入会可能な会員制クラブ

NTP レンタルボートクラブ事務局
☎ 0566-54-5300 (担当/大岩・榎原)

MARINE SERVICE マリンサービス

あなたのニーズをかなえる、テクニカルメニュー



NTPマリンサービスセンターは、様々な機装対応、船体修理を始め、オリジナルパーツからカスタマイズまで、高い技術力と内製体制でオーナー様のご要望にお応えします。

- 01 エンジン制御系駆動系
 - 02 機装
 - 03 船体修理
 - 04 塗装コーティング
 - 05 オリジナルパーツ作製
 - 06 カスタマイズ
- NTP MARINE SERVICE CENTER





muta MARINE

uno stile senza compromessi
per una vita piu' bella e creativa

PONAM
31

Official Store location

[muta ONLINE STORE] www.mutatokyo.com [muta SALONE] 052-265-8852 [muta MODA] 052-777-7373 [muta TOKYO JAPAN] 03-6721-0348 [muta MARINE TOKYO] 03-5770-4498 [muta MARINE GINZA SIX] 03-6263-8583
[muta MARINE ZUSHI] 0467-39-5589 [muta MARINE RINKU] 0569-38-1266 [muta MARINE BIWAKO] 0775-79-5554 [muta MARINE OSAKA] 06-6484-6134 [muta MARINE HIROSHIMA] 082-247-6660
[muta MARINE FUKUOKA] 092-752-0018 [muta MARINE OKINAWA] 098-988-7088 [muta MARINE COLLINA DEL MARE] 098-989-8626 [muta MARINE GOLF PALLAZZO] 03-5220-4498 [muta MARINE GOLF TOKYO] 03-6281-8380
[muta MARINE GOLF NAGOYA] 052-566-3874 [muta MARINE GOLF SAKAE] 052-264-2798 [muta MARINE GOLF OSAKA] 06-6252-5001 [muta MARINE GOLF FUKUOKA] 092-713-0018
[muta GLOBALE KANAZAWA] 076-264-8881 [muta GLOBALE KOBE] 078-232-3988



www.muta-japan.com
muta JAPAN co.,ltd
Copyright © 2015-2022
muta MARINE ALL Rights Reserved.
LOCATION: HD MARINA WAKU
[Facebook icon] [Instagram icon] [LINE icon] [YouTube icon]



be free!
太陽と海のリビングへ。



モダンな中に、ゆとりを追求したインテリア空間は、まるで居心地の良いリビングのような雰囲気。海との一体感を高める3枚扉のキャビンドアが、かつてない開放感を創出します。さらに、離着岸をアシストする新開発のTDSをはじめ、マリンスライフを楽しむための最新技術も導入しました。ここしかないプレミアムな時間をあなたへ。

Sport Utility Cruiser
PONAM-31
X GRADE



■PONAM-31 Xグレード：本体価格 42,130,000 円(税込)

※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含むことがあります。

安心で正確な離着岸が行なえる操船支援システムです。

NEW! **TDS** TOYOTA DOCKING SUPPORT
トヨタ ドッキング サポート
(オプション)

トヨタ ドッキング サポートは、帰着する場所のGPS位置情報を登録し、港内での離着岸操船をコンピューター制御でアシストするシステムです。一人での離着岸操船や桟橋係留などを安心して行えます。

※イラストはイメージとなります。実際の船の動きとは異なります。

DOCKING ASSIST
ドッキング アシスト モード



SIDE SLIDE
サイド スライド モード



TDS動画



Instagram



詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。
トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 トヨタマリン営業所

☎ 0120-532-451

www.toyota.co.jp/marine/

